

考察

- ※ 学習への取組については、予習と目的意識が低い。予習でどのようなことをすればよいのかについて、再度具体的な指導が必要。学習のめあてを生徒の言葉で立てることも大切。
- ※ 学力への実感が今一歩。CT を活用しその時間の成果をチェックし指導。
- ※ 復習も今一歩。CTを活用し、CTで出題されたことについては、必ず見 直す指導と、具体的に復習する箇所を指示。
- ※ 意見や感想発表が高くない。言語活動が実施されていない、教師主導の 授業となっている可能性が大。練り上げ・まとめでは、生徒自身で説明 する場を必ず設定。
- ※ 特別活動の清掃等が低い。意義を再度指導。
- ※ 各教科・学年で読書指導の実施を推進。